

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	25		事務事業名 (中事業名)	健康診査事業 (がん・骨粗検診)					
予算科目	04	01	04	大事業	01	中事業	03	担当課名	健康課
総合計画施策コード	423			事務開始年度	昭和57年度			備考	
根拠法令等	健康増進法19条の2、健康増進法施行規則第4条の2						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	厚生労働省のがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針に基づき、がんの早期発見の推進を図ることにより、がんでの死亡率を減少させるため。
事業の対象 (誰(何)のために)	20歳以上の市民
事業の概要 (具体的に何を)	・広報折り込みチラシやホームページ等により健康診査の周知・対象年齢の方のがん検診無料クーポンを発送(子宮頸がん、乳がん、大腸がん)・6月から翌年1月までの期間で74回18か所で集団健診を実施(平成31年度)・年度途中で未受診者に対し、受診勧奨を実施

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	74,023,262円	68,116,476円	77,499,000円	
事業にかかる人工	0.30人	0.30人	0.30人	
事業にかかる人件費②	2,131,384円	2,150,222円	2,170,268円	
総事業費③(①+②)	76,154,646円	70,266,698円	79,669,268円	
総財源 業内費 訳③ の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	618,000円	759,000円	0円
	県からの支出金	276,000円	169,000円	330,000円
	市費	58,322,146円	54,781,698円	62,383,268円
	その他 健診等自己負担金	16,938,500円	14,557,000円	16,956,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	-5,887,948円	H30 総事業費③の対前年度比率	-7.73%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	検診業務委託料	65,502,240円	
	通信運搬費	がん検診手帳、無料クーポン等郵送料	1,009,600円	
	委託料	がん検診手帳、無料クーポン等作成業務	929,878円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけ成果(成果指標)を得るために、どれだけ活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	がん(悪性新生物)による死亡率(愛知県衛生年報)※公表時期の都合により1年遅れ					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	30	%	29	%	28	%
	実績値	27	%	29	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	がん検診受診勧奨者の受診率					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	22	%	23	%	24	%
	実績値④	11	%	18	%	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度	平成30年度	令和元年度			
		6,923,150円	3,903,705円	*****			

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	検診業務、がん検診手帳、無料クーポン等
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	法令により市町村による実施が定められているとともに、がん検診による早期発見により、市民の健康寿命を延ばし、医療費の増加を防ぐために必要な事業であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	◎
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	◎
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	◎
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	人間ドック、国保・後期特定健診でがん検診を同時に受診できるようにしているほか、がん検診未受診者への受診勧奨を行ったことが成果につながっている。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	目標値に近い成果をあげているため、受診会場の工夫等により、目標が達成可能と考えられるため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	西尾市医師会健康管理センターへの民間委託を実施している。専門的な業務のため、これ以上の拡大を望むのは難しい。				
事業全体の課題	西尾市の特徴として自家用車でがん検診会場にみえる為、駐車場の確保ができる会場でないと実施が難しい。平成30年度から実施しているスギ薬局でのがん検診開催のように民間の施設も活用していく必要がある。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	がん検診自己負担額 西尾市 肺がん無料 胃がん1,000円、子宮頸がん1,000円、前立腺がん500円、乳がん1,000円、大腸がん500円 A市 肺がん500円、胃がん2,000円、子宮頸がん1,000円、前立腺がん1,000円、乳がん2,000円、大腸がん500円 B市 肺がん500円、胃がん2,000円、子宮頸がん1,000円、前立腺がん500円、乳がん1,000円、大腸がん500円
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	最近、尿1滴や血液1滴でがん検査ができる機械が開発されたとのニュースがありました。機器の導入費用は高いかもしれませんが、市民病院等に取り入れればマスコミ等の取材や市民からの注目をあつめ、がん検診受診率があがるのでは。ついでに市民病院の経営改善にもつながるかもしれません。
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	ご提案いただいた検査方法は令和2年1月に実用化されたばかりで、国の指針にも採用されていません。国が推奨し検診結果の有効性が確認されましたら、検討したいと考えています。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	受診率向上のため、周知方法や受診会場の開拓、未受診者への呼びかけ、受診方法の効率化に努め、AI・RPAの活用を積極的に検討してください。
----------	--

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	26		事務事業名 (中事業名)	健康診査事業 (歯周疾患検診)					
予算科目	04	01	04	大事業	01	中事業	04	担当課名	健康課
総合計画施策コード	423			事務開始年度	昭和62年度			備考	
根拠法令等	健康増進法						作成月	令和元年7月	

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	歯周病の早期発見及び早期治療並びに歯の喪失を予防するため、歯科健診を受診する。
事業の対象 (誰(何)のために)	20歳以上の市民
事業の概要 (具体的に何を)	20歳以上の市民が市内の指定歯科医療機関を受診し、医師による歯牙・口腔粘膜の検査、歯周検査、予防指導を受けて自身の歯牙・歯周の状態を知り、必要に応じて早期の歯科治療や健康意識を高める。20. 30. 40. 50. 60. 70. 76歳と3歳児健診対象の母親には受診勧奨として個別通知を行っている。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	9,048,772円	9,490,524円	10,695,000円	
事業にかかる人工	0.06人	0.06人	0.06人	
事業にかかる人件費②	426,277円	430,044円	434,054円	
総事業費③(①+②)	9,475,049円	9,920,568円	11,129,054円	
総事業費内費③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	2,411,000円	2,418,000円	2,845,000円
	市費	6,873,049円	6,864,524円	8,077,054円
	その他 <small>後期高齢者医療制</small>	191,000円	208,000円	207,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	445,519円	H30 総事業費③の対前年度比率	4.70%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	歯科健診 4,320円×1,715人	7,408,800円	
	役務費	郵送料	1,587,200円	
	印刷製本費	受診案内ハガキ	317,433円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	40歳の歯周病(歯周ポケット4mm以上)の人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	65	人	50	人	48	人
	実績値	100	人	83	人	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	40歳の成人歯科健診受診人数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	344	人	350	人	340	人
	実績値④	217	人	165	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		43,664円		60,125円		*****	

事業の委託状況	全て委託している	委託の内容	歯科健診、歯みがき指導
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年
事業の終了時期が未定の場合の理由	歯科健診が受診しやすいよう、周知案内等を改善しながら受診率の向上を目指している。また、歯科疾病予防の観点から必要な事業であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない —:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	◎	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	△
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	△		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	歯科保健に関する意識の低さからか、受診率は低い現状にある。中年期からの早期受診が重要であるので、受診しやすい環境づくりを整備する必要がある。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	定期的な歯科健診を受診している人は、将来的に医療費が安いという先行研究があり、継続することで医療費の抑制に繋がると思われるため、今後も受診者の増加に努めたい。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	委託をしている。				
事業全体の課題	すでにかかりつけ歯科医がおり、定期受診をしている人もいると思われるが、その人数の把握はできていない。働き盛りの人が受けやすい受診体制が必要。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	A市:対象年齢30.35.40.45.50.55.60.65.70.75歳 受診率16.4%(40歳は14.8%) B市:対象年齢40.45.50.55.60.65.70歳 受診率7.4%(40歳は7.8%) C市:対象年齢30.35.40.45.50.55.60.65.70.75歳 受診率13.0%(40歳は8.6%)
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	歯科健診を無料で受けられるのはありがたいことですが、疾患が見つかった場合の治療は別日でないといけない、という制度は改善できないでしょうか。治療分の費用負担は受診者が負担するのは当然として、健診と同日に治療も受けられるようにすれば、忙しい人にも受診の都合がつけやすくなり、受診率も上がると思います。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	診療報酬請求の関係上、健診と治療を同時に実施することが困難で、この件について改善は見込めないのが現状です。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	受診率向上のため、周知や未受診者への呼びかけ方法の効果を検証し、継続的に改善を行ってください。
----------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	27	事務事業名 (中事業名)		成人健康事業 (成人健康づくり事業)					
予算科目	04	01	04	大 事 業	02	中 事 業	02	担当課名	健康課
総合計画施策コード	423		事務開始年度	昭和57年度		備 考			
根拠法令等	健康増進法				作成月	令和元年 7 月			

事 業 の 概 要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	運動や食生活の改善など健康づくり活動に参加する人を増やすため、個人・地域において健康づくりに関与する仕組みづくりや人を養成する。
事業の対象 (誰(何)のために)	市民
事業の概要 (具体的に何を)	〈健康にしおマイレージ事業〉健診受診、食事や運動、健康教室参加等の健康づくりポイントが付与され、ポイント到達者には、県内で使用できる「まいか」の交付及び抽選で特産品等の景品を贈呈する。〈健康づくり活動事業〉地域で健康づくりに関与する会員を養成して自身の健康のための勉強会に参加する。また会員の企画により市民向けのウォーキングや料理・体操教室を開催している。

●事業費の内訳【DO】

項 目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事 業 費 ①	845,740円	882,719円	883,000円	
事業にかかる人工	0.20人	0.20人	0.20人	
事業にかかる人件費②	1,420,922円	1,433,482円	1,446,845円	
総事業費③(①+②)	2,266,662円	2,316,201円	2,329,845円	
総 財 源 内 費 ③ の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	16,000円	85,000円	19,000円
	市費	2,250,662円	2,231,201円	2,310,845円
その他	0円	0円	0円	
H30 総事業費③の対前年度差額	49,539円	H30 総事業費③の対前年度比率	2.19%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項 目	概 要		金 額
	報償費	講師謝礼・健康にしおマイレージ景品		221,700円
	印刷製本費	健康にしおマイレージパンフレット印刷業務委託料		387,180円
	ボランティア活動等委託料	ボランティア6団体、食生活改善クラブ活動委託料		152,940円

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成 果 指 標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	健康づくりボランティア活動回数					
	指標の推移	平成29年度	単 位	平成30年度	単 位	令和元年度	単 位
	目標値	160	回	150	回	150	回
	実績値	163	回	154	回	*****	
活 動 指 標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	健康づくりボランティア活動への市民参加者数					
	指標の推移	平成29年度	単 位	平成30年度	単 位	令和元年度	単 位
	目標値	3,800	人	3,900	人	4,050	人
	実績値④	3,920	人	4,035	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		578円		574円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	健康づくり活動
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年
事業の終了時期が未定の場合の理由	市民が中心となっていく健康づくり活動は、地域を支える担い手として必要である。また、行政以外の力を活用した健康づくり活動は今後も継続することが求められるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	△		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	○		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	○
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	○		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	-		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	△
評価の総合的なコメント	健康づくり活動が個人の生活や健康にどのくらい浸透しているかを数値で表すことができず評価が難しい。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	マイレージ事業はアンケートにより、約9割の人が健康づくりに役立ったと回答しており、事業の意義はあったといえる。推進員の活動は、市民参加型の活動として継続する。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	マイレージの景品提供など協力店が増え、リーフレットの配布先も拡充したことから参加者数の増加が見込まれる。地域で健康づくりを担う人を増やし、活動を盛んにしたい。				
事業全体の課題	〈マイレージ事業〉より多くの市民に事業に参加してもらうため、利用しやすいツールの検討も必要。また魅力ある協賛事業者を獲得する。〈健康づくり活動〉活動の幅を広げるため会員数を増やし、市民の目に見えやすい活動を行うこと。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	(平成29年度の状況) A市 マイレージ事業実施。健康づくりリーダー等による地区活動実施。 B市 マイレージ事業実施。健康推進員等による地区活動実施。 C市 マイレージ事業実施。健康推進員等による地区活動実施。
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	〈健康にしおマイレージ〉・アンケートより「げんきプラザだけでなく、中央体育館等のトレーニングルーム定期券を景品として追加してほしい」という意見があった。・優待カード「まいか」が使用できる協力店が少ないとの意見が多い。
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	H31年度に中央体育館、総合体育館のトレーニングルームの定期券を追加した。「まいか」使用可能な協力店については周知を徹底していく。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	市民や民間事業者と協働して行う事業であり、より多く関係者を巻き込むことができるような取り組みを行ってください。
----------	---

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	28	事務事業名 (中事業名)	西尾市民げんきプラザ運営事業 ()						
予算科目	04	01	04	大事業	05	中事業	00	担当課名	健康課
総合計画施策コード	421			事務開始年度	平成29年度		備考		
根拠法令等	健康増進法			作成月	令和元年7月				

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	高齢者やメタボリック予備群の方等、体力や健康に不安があるハイリスク者に対して一人ひとりに合った運動プログラムを処方し、個人個人が運動することの成果を感じ取る。
事業の対象 (誰(何)のために)	65歳以上の市民、40歳～64歳でメタボリック予備群の市民
事業の概要 (具体的に何を)	トレーニングを開始する前に、健康度測定を行い、自身の健康状態・体力・生活習慣を測定し、専門スタッフの指導を受けながら自分に合ったトレーニングメニューで、マシンによる有酸素運動や筋肉トレーニング、ストレッチを行う。半年後に、健康度測定を行い効果を確認する。

●事業費の内訳【DO】

項目	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	
事業費①	45,687,358円	45,892,158円	46,516,000円	
事業にかかる人工	0.80人	0.80人	0.80人	
事業にかかる人件費②	5,683,690円	5,733,926円	5,787,380円	
総事業費③(①+②)	51,371,048円	51,626,084円	52,303,380円	
総事業費の内訳③	使用料・手数料	3,392,113円	3,312,783円	3,331,000円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	507,000円	487,000円	531,000円
	市費	26,562,935円	27,210,301円	27,256,380円
	その他 介護予防費負担金	20,909,000円	20,616,000円	21,185,000円
H30 総事業費③の対前年度差額	255,036円	H30 総事業費③の対前年度比率	0.50%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (H30決算額)	項目	概要	金額	
	運動指導事業業務委託料	運動指導業務委託28,002,153円×1式	28,002,153円	
	臨時職員賃金	1階受付の臨時職員賃金	2,186,480円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的と						
	具体的な指標	利用者による半年後の健康度測定時のアンケートによる個人個人の成果					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	90	%	90	%	90	%
	実績値	100	%	95	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	トレーニングの年間利用者数					
	指標の推移	平成29年度	単位	平成30年度	単位	令和元年度	単位
	目標値	15,000	人	15,500	人	16,000	人
	実績値④	14,580	人	17,981	人	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		3,523円		2,871円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【DO】

事業の委託状況	一部委託している	委託の内容	運動指導業務・施設の維持管理
事業の終了時期	未定	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	令和4年度
事業の終了時期が未定の場合の理由	市民が自分の健康状態、生活習慣、体力の状況を知り、継続的に自らの健康づくりに取り組むことにより、健康寿命を延ばし、医療費の増加を防ぐために必要な事業であるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	◎
	国・県・市・民間との役割は適切か	○		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	○		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	—
有効性	事業の目的は達成できているか	○	公平性	受益者に偏りはないか	○
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	◎
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	○
	他市町村と比べて上位に位置しているか	○		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	◎
評価の総合的なコメント	利用者による運動の成果のアンケートにおいても、体重が減った、体力・筋力がついたなど、多大なる成果を本人が感じている。このことにより、事業の効果はある。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	目標に達しているため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団に運動指導事業を委託している。				
事業全体の課題	利用人数の増加により、トレーニングルームでの運動機器の待ち時間が長くなってきた。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	西尾市 げんきプラザ 65歳以上の市民他 月曜日～金曜日 9:30～16:30 健康度測定 500円 トレーニングルーム使用料 2,000円(1か月定期) A市 げんきプラザ 13歳以上の市民 月曜日～土曜日 9:30～16:30 げんき度測定 500円 エンジョイ教室 4,000円/3か月間(40回まで)
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	運動機器の待ち時間については予約方法を変更し、1人で一度に複数の機器の予約をできないように、また1種目の利用時間を少し短くして回転率をあげるようにする。
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	今後は利用実績や利用者の声等のデータが蓄積されてくる時期であると考えますので、検証を行いながら長期的な視野でより良い施設運営となるようにしてください。
----------	---